



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



R5. 3. 10(金) No.41 小柳 弘志

1.2年生のおかげで卒業式ができました。

3月4日(土)に卒業式を行いました。1.2年生の皆さんは卒業式の様子を見ることはできませんでしたが、前日に卒業生のために一生懸命、準備を行いました。「花のプランター」「祝福カード」「メッセージ動画」です。卒業生はそれを見て感動し、在校生代表の送辞・卒業生代表の答辞を聞いて感動し、式典での初めての校歌斉唱で感動していました。



【花のプランター、祝福カード】



【卒業証書授与】



【メッセージ動画】

在校生代表の送辞を紹介します。

送辞(抜粋)

草木もようやく長い冬の眠りから覚め、生命の息吹が感じられる季節となりました。この佳き日に卒業される先輩方、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

期待と不安に胸を膨らませ南阿蘇中学校の門をくぐった私たちに、先輩方は笑顔で気持ちの良い挨拶をしてくださいました。先輩方と過ごした学校生活は、貴重な時間となり、様々な思い出ができました。いつも優しく接し、部活動では、わからないところを丁寧に教えていただき、先輩方は私たち在校生の目指すべきお手本でした。

体育大会では、先輩方がリーダーシップをとって導いてくださいました。「Stay Gold～輝け青春 君が主役だ～」のスローガンを掲げ、各団の優勝への熱い思い、直向きにゴールへ走る先輩方の姿にとっても感動しました。仲間と何度も練習した応援合戦やダンスの練習では、常に先輩方が率先して、一致団結することの大切さを示してくれました。体育大会の本番でも、全力を出して最後までやり遂げ、諦めずに、仲間と共にやれば実力以上の力を発揮できることを知りました。体育大会では様々なことを先輩方の背中から学ばせていただきました。

「輝け南中生～再スタート Lets give it our all～」をスローガンにみんなで取り組んだ学習成果発表会は、私たち在校生にとっても初めての経験でした。数年ぶりの学習成果発表会を、自分たちからもう一度始めようと取り組む先輩方を、ステージ発表や合唱コンクールの練習、展示物の準備を通して、間近に見せていただきました。本番では、スローガンの「Lets give it our all」に込められた「最後まで頑張る」「がまだせ南中生」の思いを体現する先輩方の姿に、私たち在校生も奮い立たされたことを覚えています。

南阿蘇中学校で先輩方と共に学んだ二年間は私たち在校生にとってとても得がたい時間であり、先輩方は私達の誇りです。私達、二年生も先輩方の築いた南阿蘇中学校の伝統を守り受け継ぎ、後輩の手本となるよう、精一杯頑張ります。

今、先輩方は夢と希望を抱いて新しい世界へ羽ばたこうとされています。どうか、その夢と希望を胸に、南阿蘇中学校で学ばれたことを礎にご活躍ください。最後になりましたが、卒業生の皆様のご活躍とご健康を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

卒業生(3年生)からのメッセージ

卒業式答辞の中に卒業生からみなさんへのメッセージがありました。紹介します。



答辞 (抜粋)

二年生では学校や部活動など様々な場面で、先輩についていく立場から後輩を引っ張っていく立場になりました。時に、どうしたら良いか分からず試行錯誤しながら頑張ってきました。

そして私たちは、あっという間に三年生になりました。生徒会活動、部活動、体育大会など様々な場面で、最高学年として学校を引っ張ってきました。生徒会スローガン「挑 ~ Stay Gold ~」のもと、様々な事に一所懸命全力で取り組みました。いちばん記憶に残っているのが、青、黄、赤、三団で行われた体育大会です。緊張でガチガチの中、本番を迎えました。最後の種目の全校応援で私たちは地域の方々や保護者の方々への感謝の気持ち、新型コロナウイルスに負けない南阿蘇中パワーを届けました。全校生徒が一つとなり創りあげたこの瞬間は私にとって忘れられない思い出です。この体育大会は団結する事の大切さだけでなく、計画をもって物事を進める事や全力で取り組み楽しむ事などたくさんの大切な事を学んだ機会であり、私たちのかけがえのない大切な思い出です。

在校生の皆さん、頼りない私たちだったとおもいます。でも皆さんが私たちについてきてくれたから、私たちは成長する事ができました。これからの南阿蘇中を創っていくのは、皆さんです。南阿蘇中ブランドや開校以来の先輩方の思いを受け継ぎ、自分たちで創り、後輩たちへと繋げていってください。そして、悔いが残らないように、一瞬一瞬を大切に、仲間を大切に、仲間を大切に過ごしてください。私たちを支え、ついてきてくれて、先輩にしてくれてありがとう。

途方もない不安の中始まった私たちの中学校生活を、明るく楽しい中学校生活に変えてくれたのは、先生方でした。どんな時でも私たちを支え、見守ってくださいました。そのおかげで私たちは安心して、勉強や部活動に励む事ができました。悩んでいる時や落ち込んでいる時には、その変化に気づいて私たちに寄り添いお話をしてくださり、励ましてくださいました。時には厳しい言葉をいただいた事もありましたが、先生の本気の言葉が私たちの成長につながっています。休み時間には先生方とお話をし、先生方の思いや人柄などもよく知る事ができ、先生方をとても身近に感じる事ができました。一緒に喜んで、一緒に笑って、いつも見守ってくださった先生方が私たちの側からいなくなると思うと不安ですが、先生方から学んだ事を忘れず頑張っていきます。三年間、本当にありがとうございました。

そして一五年間、一番近くで見守ってくれた保護者の皆さん、たくさん迷惑をかけてきたけれどこれまで育ててくれてありがとう。特に、三年生になってからは、部活動の最後の大会、コンクール、進路、様々な事でお世話になりました。うまく言葉にする事ができなくて、ちゃんと話す事や思いを伝える事が上手にできなかったけれど、そんな私たちの側にいつもいてくれて、いつも寄り添い、励まし、見守ってくれてありがとう。これからも、今まで以上にぶつかり迷惑をかけたり悩んだりする事があると思います。そんな時も近くで見守っててください。私たちは近くにいてくれるだけで安心して前に進む事ができます。これまで本当にありがとう。そして、これからもよろしくお願ひします。

最後に、三年間、同じ校舎で学び同じ時間を過ごした仲間。緊急事態宣言の中の入学式から始まり、午前中だけの体育大会、四度延期になった修学旅行、三年間で一回だけの学習成果発表会、一度も式典でちゃんと歌った事のない校歌。そして今日も在校生のいない卒業式。新型コロナウイルスという大きな壁にぶつかり続けた三年間でした。このような私たちの中学校生活でしたが、だからこそ忘れられない思い出がたくさんあります。私たちは、とても明るく、とても温かく、いつでも全力で駆け抜ける事ができる、そして、とてもぬくもりのある学年です。いろいろな人に寄り添い、準備を手伝ったり、荷物運びを手伝ったりする事を自然とできる学年です。時には意見が分かれたり、喧嘩をしたりする事もありました。それでも、共に笑い、共に喜び、共に泣き、共に悩み、支え合い、助け合いながら過ごしたみんな。みんなと過ごす事ができたから、楽しく充実した毎日を送る事ができました。何気ない会話、一緒にした勉強、一緒に遊んだ休み時間、そんな一瞬一瞬が私たちを繋ぎ、一つの切れる事のない糸にしてくれたのだと思います。